

■「事前配布資料（復興計画素案ver.6.2）」からの主な変更点

資料1

	章	政策	施策	取組/PJ	内容	修正対応
1	1	3			修正	<p>熊本市第7次総合計画（以下「総合計画」という。）（平成28年度～平成35年度）の前期基本計画の中核として位置付けます。</p> <p>私たちは、熊本地震に伴う様々な経験を通じて、改めて地域が持つ力・市民一人ひとりが持つ力の大きさと重要性を実感したところであり、「地域主義」をまちづくりの基本理念とした総合計画の基本構想に掲げるめざすまちの姿「上質な生活都市」の実現は、震災後の本市においても変わることのない目標です。</p> <p>そこで、「上質な生活都市」めざすまちの姿を実現するための施策や具体的な取組を体系化し、その取組を計画的に推進していくため、熊本市第7次総合計画（以下「総合計画」という。）（平成28年度～平成35年度）総合計画の基本計画に復旧・復興の視点を取り入れた復興計画を策定し、これを総合計画の前期基本計画の中核として位置付けます。るものとして、この復興計画を策定します。</p> <p>そして、復興計画を除く基本計画に掲げる施策等については、今後策定する実施計画において、事業の実施時期・規模等を必要に応じて見直し、復興計画の着実な推進を図ります。この復興計画を含めた総合計画の基本計画を具現化するためのアクションプランとして実施計画を策定し、計画の着実な推進を図ることにより、</p> <p>併せて、熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略（平成27年度～平成31年度）に掲げる「人口減少克服」・「地方創生」という政策的課題の解決にもつなげていきます。</p>
2	2	1			修正	<p>未だ、震災前の暮らしを取り戻すことが出来ずに不自由な生活を余儀なくされている市民が多数いる状況を踏まえながらも、明日を見据え、市民生活の再建や地域経済の復興を目指し74万市民の総力を結集した力強い歩みを進めなければなりません。る段階を迎えています。</p>
3	2	3			修正	<p>このような中で、未曾有の大災害である熊本地震が発生し、大きな被害を受けましたが、。しかし、そこで改めて、地域の中で一人ひとりがつながることの大切さを認識することができ、ました。</p> <p>この経験を踏まえ、</p>
4	3			PJ①	修正	<p>・被災住宅の応急修理や液状化などによる宅地被害の復旧支援のほか、被災者が恒久的な住まいへ移行できるよう、コミュニティの維持・形成にも配慮しながら、災害公営住宅復興住宅を含む公営住宅の提供などの支援に取り組みます。</p>
5	3			PJ①	修正	<p>被災者が一日も早く安心して自立的な暮らしを取り戻すことができるよう、生活再建に向けた様々な住まいの確保支援や心のケア等、生活再建に向けた総合的な支援に取り組みます。</p>
6	3			PJ④	修正	<p>・担い手への農地集積や農業用共同利用施設の再編整備を進めつつ、「日本一のみかん産地」を目指した園地整備等により、「日本一のみかん産地」を目指して農業の力強い復興を支援するとともに、バイオ・ヘルスケアといった自然共生型産業などの分野を中心に産学連携を推進し、新技術開発や販路拡大等を支援することで、本市の特性を活かした新たな産業集積を図ります。</p>

	章	政策	施策	取組/PJ	内容	修正対応
7	3			PJ④	修正	• 熊本駅周辺整備事業により、公共交通の結節機能等を強化し、陸の玄関口に相応しい新たな商業機能を集積します。
8	4	1	(1)	①	修正	• 既存制度も含め、被災者の生活再建を支援する各種事業を実施するとともに、ワンストップの総合相談窓口を各区に設置し、公的な支援制度に係る相談、情報提供等を実施します。
9	4	1	(3)	②	修正	• 自力での住まいの確保が困難な被災者に対して、復興住宅災害公営住宅を含む公営住宅を提供するなど、恒久的な住まいの確保移行支援に取り組みます。
10	4	2	(1)	②	修正	• 高齢者や障がい者等が孤立することなく、住み慣れた地域で安心して健康で文化的に暮らしていくために、地域住民や医療・介護・保健・福祉に関する専門機関などが連携して支えていく地域包括ケアの体制づくりを進めます。
11	4	2	(2)	①	修正	• 地域福祉の担い手である民生委員・児童委員等の確保・支援育成に取り組みます。
12	4	3	(1)	①	修正	• 一級河川鶯川をはじめ護岸破損などの被害を受けた河川等の早期復旧に取り組みます。
13	4	3	(1)	①	修正	• 水前寺江津湖公園の園路やよう壁の復旧をはじめ、被害を受けた各公園堤防が崩壊した水前寺江津湖公園等の公園施設の早期復旧に取り組みます。
14	4	3	(1)	①	修正	• 防災拠点をつなぐ上下水道管路や水道施設、下水道施設の更新や耐震化を進めます。配水池及び浄化センターと防災拠点（広域避難所・市役所本庁舎・上下水道局庁舎等）をつなぐ上下水道管路や施設の更新や耐震化を進めます。
15	4	3	(2)	③	修正	• 平時から、地域との連携強化に向けた取組を進めるとともに、職員研修等を通じて職員の災害対応力の向上を図ります。
16	4	3	(3)		修正	また、高齢者や障がい者、妊産婦、子ども等、避難所での生活に支障があり、特別な配慮を必要とする方の避難先での生活に十分配慮するとともに、
17	4	3	(3)	①	修正	• 地域防災計画の見直しの中で、今回の震災における課題等を踏まえた避難所の指定及びや女性や高齢者女性、障がい者、高齢者、子ども等など、様々な視点に立った運営方法の改善を行います。

	章	政策	施策	取組/PJ	内容	修正対応
18	4	3	(3)	①	修正	・避難所運営に携わる人員の確保のほか、ボランティアが効果的に機能するためのコーディネーターの配置などについて検討しを行います。
19	4	3	(3)	②	修正	・避難所においては、停電時に電力を供給する太陽光発電設備等の導入、誰もが利用しやすいトイレや災害用マンホールトイレの整備、固定電話の設置など必要に応じた機能強化を行っていきます。
20	4	3	(3)	③	修正	・災害時に福祉避難所となる施設を十分に確保するため、高齢者福祉施設や障害福祉施設、児童福祉施設等との事前協定締結に向けた協議を進めます。
21	4	4			修正	今回の震災によって、本市の主力産業である農水産業や観光産業をはじめとする地域産業の多くが大きな被害を受けており、施設や設備等への直接被害のみならず、被災した取引先事務所事業所の営業・操業停止による間接被害や、観光客の減少・市民の消費意欲の低下などといった様々な問題に直面しています。
22	4	4	(1)	②	修正	・高度な技術を持つ大学等の研究者を活用するなど、産学連携を強化し、企業の技術力向上を図るとともに、本市の特色である「食」関連産業、医療・福祉関連産業、環境関連産業、クリエイティブ産業といった復興のけん引役となる分野の産業振興を図ります。
23	4	4	(1)	③	修正	・魅力的な労働環境整備を実施している企業のPRや障がい者雇用に積極的に取り組む企業の支援を行うほか、職業訓練施設の復旧と訓練内容の充実を図り、産業人材の育成を促進するとともに、今回の震災に伴う離職者を含む求職者とのマッチングやU・I・Jターンの促進など、人材確保に努めます。
24	4	4	(3)	②	修正	・熊本城のほか、宮本武蔵や夏目漱石等の人物や西南戦争等の歴史、植木温泉や水、農産物といった本市固有の素材を新たな観光商品として開発するとともに、他都市や民間企業と連携するなど効果的な手法を用いて国内外への広報・宣伝を強化します。
25	4	4	(3)	④	修正	・熊本駅の周辺整備事業により公共交通の結節機能等を強化するとともに、商業等の集積を進め、中心市街地の交流人口の増加を図ります。
26	4	5	(2)	④	修正	④中心拠点施設等の整備等
27	4	5	(2)	④	修正	・また、中心市街地からの広域的な公共交通ネットワークの強化網の利便性向上を図ることにより、圏域住民が暮らしやすい都市を目指します。
28	5		(2)		修正	また、既存事業の見直しや行財政改革の推進により、更なる行政コストの削減を図るとともに、地域経済の活性化や雇用の創出など税財源の涵養につながる取組等に財源や人的資源を重点配分することで、持続可能な行財政運営を行います。